

アンガーマネジメント研修（基礎編）

対象者：全職員

1. 研修の目的

価値観の多様化、教育背景の違い、IT 技術の進化等に伴い、現代社会には多種多様な考え方と年代によって異なる「常識」が生まれています。その結果、そこに生きる誰もが日常的に「イライラストレス」を抱えながら生活をしているのが現状です。

この「イライラストレス=怒り」は、公的サービスにおける対応力を損なうだけでなく、職場の人間関係にも大きく影響を与えます。

本研修では、怒りの感情と上手につきあい、業務において最高のパフォーマンスを提供するために、いま日本でも注目を浴びている心理トレーニング法「アンガーマネジメント」を学ぶことで、普段から「イライラストレス」に振り回されない自分をつくと同時に、職場内のコミュニケーション力を高め、組織活性化へと発展させます。

2. 研修全体像・特徴

<私たちが現代社会にイライラしやすいのは…>

「価値観の多様化」

「雇用形態」「個性」が多様化。個人の価値観が自由に主張される時代となり、自分と意見ややり方の異なる人材が周りにいる

「利便性の進化」

便利さに慣れ、今は「効率よく」「出来て当たり前」の時代に…すぐ出来ない、すぐ答えが出せないという結果は受入れがたい。

「忙しさが増えている」

少ない人数で多くの仕事をこなす生産性が求められる→仕事が増え心に余裕がない
→コミュニケーションの低下→ストレス(イライラ)が発生しやすい

<POINT> 怒りは「わたし達人間が誰ももっている自然な感情(=喜怒哀楽)の一つ

⇒日常生活において「イライラ」を感じない人はいない上、「イライラ」をなくすことも不可能

だからこそ、「イライラ=怒りの感情」に振り回されない自分や組織をつくるためにも、「アンガー(怒りの感情)」を「マネジメント(上手にコントロールし、怒りで後悔しない 自分をつくること)」が非常に大切です。

そのために、怒りがわくメカニズムなどを学ぶと同時に、以下の事を様々なトレーニング法を通じて身につけます。

- 1) 普段から怒りにくい自分をつくる
- 2) いざ怒ってしまった時の対処方法

3. 研修内容

	内 容
9:00	1. イライラストレスとは 【講義・個人ワーク】 1) 何故私たちはイライラするのか？ 2) ストレスと「やる気」の関係性 ~ストレスは「スパイス」と認識する~ 3) あなたのストレス度は？ ~自己チェック~ 4) 組織におけるイライラストレスと生産性の関係
	2. アンガーマネジメントとは？ 【講義・個人ワーク・ペアワーク】 1) 怒ること/怒らないことのメリット・デメリット 2) 自身の怒りに目をむけてみよう 3) アンガーマネジメントの定義と歴史的背景 4) 問題となる4つの怒り方
12:00	3. あなたは何にイライラしやすいのか？ 【講義・個人ワーク】 1) 自分は何に怒りを感じやすいのか？ 2) 怒りが生まれるメカニズム
13:00	4. アンガーマネジメントテクニック 【講義・個人ワーク・ペアワーク】 1) 普段から怒りにくい自分を作る 2) いざ怒ってしまった時の3つの対処法 ① 衝動のコントロール ■ 怒った時に絶対してはいけないこととは？ ■ 6秒ルール ■ 6秒をやり過ごすためのアンガーマネジメントテクニック ② 思考のコントロール ■ 私たちを怒らせているものの正体 ■ 3重丸で考える ■ 「べき」の境界線 ③ 行動のコントロール ■ 自分力で変えられるのか？変えられないのか？ ■ 分かれ道で考える
	5. アンガーマネジメントでチームビルディング 【講義・グループワーク】 1) 境界線ワークで価値観のちがいを認識しよう 2) アンガーマネジメントを職場づくりに活かすには
16:30	6. 総括 【講義・グループワーク】 ・ 本研修のまとめと質疑応答